

# アート&テクノロジー・ヴィレッジの 整備に係る支援について

【担当省庁】内閣官房、内閣府

近年、国内において、異業種、異分野、異目的の見地を取り入れ、今までにない発想で技術革新を起こし得る、様々なオープンイノベーションの取組が行われているが、最近ではデザイン性に注目が集まっており、アートとテクノロジーを融合させた取組も必要である。

多種多様な大学や日本を代表する企業、成長が著しいスタートアップ企業等を有する京都の高いポテンシャルと文化力を生かし、アートとテクノロジーという、まったく異分野の人材の融合による、これまでにない新しい視点の新商品や技術開発といった新たなイノベーションを創出する拠点「アート&テクノロジー・ヴィレッジ」の整備について、地方創生拠点整備交付金で採択いただきたい。

## 【現状・課題等】

- 関西文化学術研究都市との連携のほか、令和2年7月には、京都府は大阪府、兵庫県とともに、国の「スタートアップ・エコシステム拠点都市」に選定され、地元企業・大学・京阪神の各自治体・国と連携しながら、世界に伍するスタートアップの創出支援に取り組んでいる。
- ただし、府内をはじめ、オープンイノベーション拠点は数多く存在するが、「アート」を切り口に、テクノロジーと融合させる異業種・異分野・異目的の企業や大学が連携・交流ができる環境の整備は国内では不十分である。
- 今後の社会変化に柔軟かつスピーディーに対応するには、次世代を担う起業家（アントレプレナー）や中小企業の中核を担う人材の育成及び高付加価値のビジネスモデルを創出する中小企業の育成が必要であるが、社会の多様な変化に中小企業が単独で対応するのは容易ではなく、オープンイノベーションをより多くの中小企業で進めるためには、異業種、異分野、異目的の企業・大学が横断的な交流の中で、自社と社外の知識や技術を融合させ、新しい価値を創造していくことが重要である。

京都府 の担当課	政策企画部 企画参事(南部担当) (075-414-4380)
-------------	---------------------------------

## 【国の事業等】

## ■概算要求〔内閣府〕

## ▶ 地方創生推進交付金 1,200 億円

(令和3年度予算 1,000 億円 ※うち地方創生拠点整備交付金 50 億円)

地方創生拠点整備交付金 (令和2年度補正予算 500 億円)

## ■まち・ひと・しごと創生基本方針 2021 (令和3年6月18日閣議決定)

3-2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

(1) 地方への移住・定着の推進

▶ UIJターンによる起業・就業者の創出

▶ 地方へのしごとの移転

- ・Society5.0 関連業種等のクリエイティブで付加価値の高い産業分野での起業や第二創業による当該産業分野への進出支援等、地方創生起業支援事業により、若者をひきつけるような産業を地方に創出し、雇用拡大等により地域経済を活性化させる。

## 【京都府の取組】

## ■アート&amp;テクノロジー・ヴィレッジの概要

基本理念	「アート×テクノロジー」の融合により、新たな価値を生み出すオープン・イノベーション型の空間づくりと次世代の企業を担う人材の育成
位置	京都府乙訓郡大山崎町大山崎斗加坪 20-1 他
面積	15,936.47 m <sup>2</sup>
交通アクセス	大山崎IC (名神高速道路、京滋バイパス) から約3分 JR東海道線 山崎駅から徒歩 25 分 阪急京都線 大山崎駅から徒歩 20 分
主な施設	交流棟、屋内制作スペース、事務局棟、共有トイレ 等
参画予定団体	自動運転技術を有する企業、京都の伝統的な金属加工技術を有する企業、AI企業、IT企業 等、合計 10 社を予定
連携予定大学	京都の芸術系・工業系大学 等